

2015年1月30日
日本調剤株式会社

調剤薬局の健康管理・健康サポートの取り組み紹介

日本調剤「健康経営・健康投資 推進セミナー」でブース出展

全都道府県で調剤薬局を展開している日本調剤株式会社(本社:東京都千代田区、代表者:取締役社長 三津原 博)は、1月28日(水)、経団連会館(東京都千代田区)で開催された「健康経営・健康投資 推進セミナー」において、ブース出展を行い、当社薬局での健康づくりの取り組みを紹介しました。

「健康経営・健康投資推進セミナー」は、一般社団法人日本経済団体連合会(経団連)と一般社団法人経団連事業サービスが共催して開催されたセミナーです。経団連会員企業の管理部門担当者、健康保険組合担当者約200名が参加し、企業による健康管理をめぐる行政動向施策、健康管理の意義や企業と健康保険組合の連携のあり方についての理解促進、さらに企業の経営課題とされる従業員の健康増進に役立つ情報提供の場として、講演や事例紹介が行われました。

会場内に設営された展示会場においてはヘルスケア支援関連企業18社が出展しました。当社ブースでは、医療費軽減に効果が高いジェネリック医薬品の取り組みのパネル展示や、薬局内で放映しているジェネリック医薬品啓発動画の上映、また自社開発の電子版お薬手帳「お薬手帳プラス」や当社薬局で実施する健康測定イベントのデモンストレーションなどを行い、参加された皆さまへ当社薬局で行っている健康管理や健康サポートに関する活動をご紹介しました。

日本調剤では、健康づくりの拠点としての調剤薬局、医薬の専門家である薬剤師の専門性を活かして、さまざまな健康維持・健康サポート活動を行い、今後も、皆さまのライフスタイルにマッチした医療・健康情報の提供に努めてまいります。



以上

<日本調剤株式会社について>

日本調剤は、1980(昭和55)年の創業以来、一貫して国の健康保険制度を支える調剤薬局のあるべき機能・役割を全うすべく「医薬分業」を追求し、調剤薬局展開を積極的に行ってまいりました。現在では、全都道府県に調剤薬局を展開し、約2,400人の薬剤師を有する日本を代表する調剤薬局企業として評価を得るとともに、超高齢社会にマッチした“調剤薬局の新しい姿”を追い求めて、日々取り組んでいます。詳細はホームページをご覧ください。[\(http://www.nicho.co.jp/\)](http://www.nicho.co.jp/)

<JP Newsletterについて>

本ニュースレターは、日本調剤の薬局や薬剤師のことを、より皆さまに知っていただくためにご紹介するものです。超高齢社会を迎え、医療の重要性が高まる中、身近な医療提供の場である調剤薬局、そして薬の専門知識を持った薬剤師は、地域における医療・健康管理の重要な担い手としての役割が期待されています。

ニュースレターに関するお問い合わせ

日本調剤株式会社 広報部 広報担当

Tel:03-6810-0826 Fax:03-5288-8693

E-Mail:pr-info@nicho.co.jp